

2022 年度 事業報告書

当会が 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに実施した事業についてご報告致します。引き続き、潤いのある地域環境づくりに向けて、一般市民や行政の方々と共に、桜の名所づくりや花のまちづくりなどの事業を展開致しました。

(1) 桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進

1) 桜の名所づくり

～桜苗木の生産と配布～

美しく潤いのある地域環境づくりの推進を目的に、桜苗木の生産と配布を継続し、地元行政や地域住民と一体となった新しい桜の名所づくりを進めました。特に、桜苗木の配布に当っては、植栽面積や植栽間隔が充分確保されているか、植栽後の維持や管理体制が明確になっているか、などについて確認したうえで実施しました。

～さくらコンシェルジュ～

新しい桜の名所をつくりたい、自分達で植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、あるいは既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民団体等の要望に積極的に応えるため、当会研究員を計画的に現地へ派遣しました。埼玉県久喜市、千葉県鋸南町、群馬県高崎市において、桜の名所の創成や桜の育成・再生・保全活動を住民団体の皆さんと一緒に展開しました。

～桜を通じた災害復興支援～

桜を通じた災害復興支援は 12 年目となりました。東日本大震災の被災地である宮城県には 1 年生苗木 100 本を無償提供しました。これにより被災地にお届けした桜の苗木は累計で 7,186 本となりました。

宮城県女川町では、座学講座と接木講座を行うとともに、旧清水地区スポーツパークで、桜植栽の指導を行いました。今後は、桜守の会メンバーに、講師として講座を継続して頂く予定です。当会研究員による、定期的な訪問指導は、2022 年度で一旦終了し、今後は、先方の要望に応じて、適宜アドバイス等を行っていくこととします。

2) 桜苗木の受託生産と育苗

地方自治体、団体や個人等から委託を受けて、その地域に由来のある桜の苗木を接木により生産・育苗し、貴重な桜の伝承を支援するとともに、桜の名所づくりを推進しました。

2022年度は、茨城県桜川市の磯部神社や、淡路海峡公園センターなどから、委託を受けました。2021年度に委託を受けた東京都大島町には、極早咲きの‘夢待桜’の苗木50本を納品しました。また、静岡県三島市の国立遺伝学研究所には、2022年度も、約30本の苗木を納品し、同研究所への支援を継続しました。

3) 花のまちづくり

花や緑を活かした地域環境づくりに関する委託を受けて、地域の美しい環境づくりへの提言を行いました。

山口県上関町からは、「花咲く海の町・上関」推進委託事業を、継続して受託しました。河津桜と水仙をコラボ植樹した城山歴史公園は、立派な観光資源となっています。2022年度は、新たに、花づくりパートナーを対象とした講習会や、日本水仙の名所復活事業の指導などを行いました。

静岡県熱海市からは、2008年から実施されている「熱海花のまちづくり」計画に関連する事業を、引き続き受託しました。海岸沿いのジャカラダ遊歩道内の花壇や、市庁舎前の花壇などの公共花壇では、ボランティア団体の皆さんに、植付の指導を行いました。また、改修工事が予定されている熱海桜の「糸川遊歩道」や、JR伊豆多賀駅から県立熱海高校までの「桜の名所散策路」において、今後の整備計画立案作業に参画しました。

(2) 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣や講座・シンポジウム等の開催

1) 講師派遣

地方自治体や住民団体等が開催する講演や勉強会に、研究員を講師として派遣しました。

桜に関しては、千葉県の「千葉県まちづくり公社」が開催した「桜観察会」での桜ガイド、北海道釧路市の「緑いっぱい市民運動」の皆さんに対する「これまでの日本人と桜の関係」についての講演など、合計58回、延べ1,084人の方々を対象に、講演や指導を行いました。

また、花のまちづくりに関しては、富山県の（公財）花と緑の銀行主催の「花スキルアップ講座」など、合計12回、延べ710人の方々を対象に、講演や指導を行いました。

2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

～サクラ保全管理講座～

桜の樹勢回復の方法や病虫害対策などの技術的・科学的分野と、桜に関する文化的・

社会的な分野についての講座を第 20 回サクラ保全管理講座として 11 月 29 日に東京都千代田区の日比谷コンベンションホールで開催しました。

今回は、①「クラウドファンディングを活用した桜の保全活動事例」として、「樹齢 60 年の桜の命を救って、桜の移植プロジェクト」をオーガニック maman オーナー：木村恵子氏、樹木医・清衛門代表：佐々木和幸氏、樹木医・小島植物園代表取締役：小島久典氏の 3 人に、「千代田区の花さくら再生計画とクラウドファンディング」を千代田区道路公園課係長：石川久氏に、②「名勝小金井桜の会による住民主体のサクラ保全活動」を名勝小金井桜の会会長：小沼廣和氏に、③「海外のサクラ、日本に戻って来たサクラを通しての今後の研究」を富山県立中央博物館企画情報課長補佐：大原隆明氏に、それぞれご講義頂きました。

樹木医や桜の愛好家など 33 名が会場で参加し、73 名が Web 配信で受講しました。

～全国さくらシンポジウム～

全国さくらシンポジウムにつきましては、第 42 回のシンポジウムを 2022 年 3 月 24 日、25 日に山口県岩国市で開催しましたので、2022 年度は開催しませんでした。2023 年度につきましては、第 43 回のシンポジウムを、2023 年 4 月 6 日、7 日に埼玉県熊谷市で開催しました。

～学び舎の桜プロジェクト～桜を知ろう、守ろう、救おう～

生徒や学生に、学校の校庭に植栽されている桜に興味関心を持ってもらうことを目的に、桜授業や樹勢回復の支援を行う活動を実施しました。

2010 年から活動している、福井県福井市春山小学校では、5 年生 46 名を対象に、桜授業や樹勢回復作業の指導を、継続して実施しました。

神奈川県立相原高等学校では、校舎移転に伴い、当会より神代曙 15 本を寄贈したことをきっかけに、環境緑地科の学生 120 名を対象に授業を行い、桜の基礎知識や品種の活用方法などを説明しました。

学校が合併することになった、東京都江戸川区立下鎌田小学校と下鎌田西小学校では、両校の 3 年生 140 名に、桜授業と接木の实技指導を行いました。

3) 花のまちづくりの普及啓発

～全国花のまちづくりコンクールの実施～

第 32 回全国花のまちづくりコンクールの事務局として、コンクールの質的充実を図ると同時に効率的な運営に努めました。

今回の応募総数は 694 件で、大臣賞をはじめ 88 件が表彰されました。花のまちづ

くり大賞では、農林水産大臣賞に鳥山順子氏（群馬県嬭恋村）と水田進氏（兵庫県洲本市）、国土交通大臣賞に野間大池花学校（福岡県福岡市）と高島孝子氏、直宏氏、千鶴氏（香川県多度津町）、文部科学大臣賞に牧之原市立萩間小学校（静岡県牧之原市）がそれぞれ選出されました。

また、優秀賞には鴻巣市（埼玉県）など 12 件が、奨励賞には高岡市立醍醐公民館花と緑の推進部会（富山県高岡市）など 9 件が選ばれたほか、入選 55 件、努力賞 7 件が選出されました。

特別賞では、入賞回数 5 回以上のシルバー賞 3 件が選出されました。

大臣賞受賞者については、その活動内容がわかる資料や動画をホームページで掲載して幅広く紹介しました。

なお、表彰式は 10 月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回も中止となりました。

～全国花のまちづくり地方大会～

地方での花のまちづくりの普及啓発を目的とした第 28 回全国花のまちづくり地方大会を、5 月 21 日、22 日に兵庫県姫路市で開催しました。1 日目の式典には 709 名が参加し、地元姫路市の事例発表に加え、全国花のまちづくりコンクール優秀事例として、福岡県北九州市および静岡県三島市の発表、ガーデニングミュージアム花遊庭ヘッドガーデナー天野麻里絵氏による特別講演などが行われました。また、翌日の現地見学には 59 名が参加し、2 コースに分かれて、市内の植物園やオープンガーデンなどを見学しました。

～「こまつの杜」（石川県小松市）での花育～

2015 年から、石川県小松市にあるこまつの杜で行っている花育活動について、2022 年度は、小松市内の認定こども園と幼稚園、計 3 ヶ所の園児、約 100 名を対象に実施しました。

子供たちが自ら「育てる楽しさ、花咲くよろこび」を感じられるよう、コマツ OB/OG のボランティアスタッフの皆さんや、「わくわくコマツ館」の職員の皆さん、小松市職員の皆さんと、日頃から連携し、活動を継続しています。

4) 屋上緑化

都市部のヒートアイランド現象の緩和策として注目されているビル屋上の緑化について、コマツビル屋上庭園の維持管理を継続して実施するとともに、Instagram や

Twitter で、四季折々の花々や屋上の風景をタイムリーに紹介するなど、屋上緑化の先進事例として情報発信と普及啓発に努めました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時中断していた一般公開も、2023 年 3 月 17 日から再開し、毎週金曜日、一般の方々に種々の桜や季節の花を楽しんで頂いています

(3) 桜の品種特性や樹勢回復についての研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

1) 自主研究

～桜の品種特性に関する調査研究～

桜見本園で収集保存している 400 品種の桜について、品種特性の画像データ化と情報の蓄積を取りまとめ、ホームページで改定版「桜図鑑」として掲載しています。桜に関する情報収集の手軽な手段として、広く一般の方々に活用頂いています。

～桜の樹勢回復に関する試験研究～

結城農場の桜見本園の桜について、樹勢回復に関する試験研究を継続し、全国各地の桜の維持保全に活用できるよう技術力や知見を高めました。

2) 受託研究

～桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導～

桜の名所づくりや樹勢回復に関する事業の委託を自治体等から受けて調査研究を行い、桜の現状把握、病害虫の駆除、枯れ枝の剪定や施肥、桜老齡樹の樹勢回復、桜によるまちづくりなどの指導や提言を行いました。

- ・ 日立市（茨城県）・・・‘さくらのまちづくり’ 推進事業に参画
- ・ 藤岡市（群馬県）・・・三波川（サクラ）樹勢調査と回復作業
- ・ 富士吉田市（山梨県）・・・新倉山浅間公園の桜樹勢回復工事
- ・ 幸手市（埼玉県）・・・県営権現堂桜堤の桜樹勢回復指導
- ・ 須坂市（長野県）・・・臥竜公園の桜樹勢回復指導

期末後援会員数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

法人会員：264 個人会員：1,281 合計：1,545

以上